

# 日本最北端の戦争遺産「赤れんが通信所」 を保存して後世に語り継いでいきたい



私たち稚内市歴史・まち研究会は、国境の街、稚内の歴史を物語るこの「赤れんが通信所」を何とか保存活用できないかと平成18年から活動が続けてきました。私たちはこれ以上の崩壊を食い止めるため、崩れた屋根材を撤去し、レンガの壁の補強を目指しています。そして、今回、その資金をクラウドファンディングで募集することとしました。少しでも、多くの方にご協力頂けると幸いです。

募集期間

目標金額 **200万円** 2019年11月1日～11月30日

支援金は、望楼の屋根ならびに周辺への屋根設置のために利用します。



返礼品

1,000円コース

お礼のメール

5,000円コース

お礼のはがき

+ポストカード

100,000円コース

お礼のはがき+ポストカード  
+見学券+毛ガニ(2尾)

他にも数種類のコースがあります。返礼品の詳細は、ページにてご確認ください。



協力方法

クラウドファンディング  
サイト「ACT NOW」にて  
受付中！



サイトURL

[https://actnow.jp/project/wakkanai\\_akarenga/detail](https://actnow.jp/project/wakkanai_akarenga/detail)



お問い合わせ先

稚内市歴史・まち研究会事務局

TEL: 090-9087-6811

E-Mail: [yaegasi-@beige.plala.or.jp](mailto:yaegasi-@beige.plala.or.jp)

担当者: 八重樫 昇

「西言西語の輸入」 重慶の輝の歳は本日  
の式考のから、糝り 雷の世對了」 奇呆さ

～～” 廃墟検索の情報より抜粋～～

## 大湊通信隊稚内分遣隊幕別送信所

名称 大湊通信隊稚内分遣隊幕別送信所  
住所 稚内市声問村恵北  
種類 通信施設 (北海道の通信施設)  
現況 現存

### 概要・歴史

北海道稚内市にある旧海軍通信施設、大本営海軍部と直結した送受信基地だった。

1931年(S6) 大湊海軍通信隊稚内派遣隊幕別送信所として新設

1937年(S12) 海軍大湊通信隊稚内分遣隊に昇格

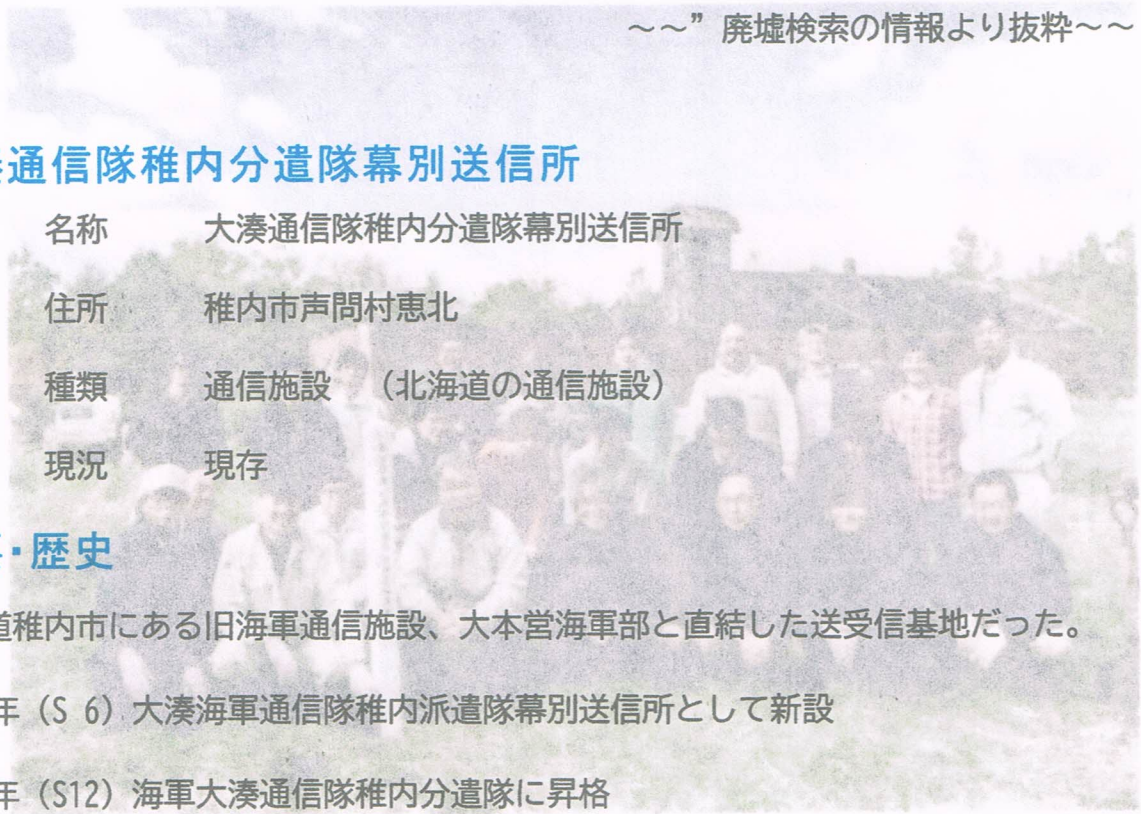
1941年(S16) レンガ造りの庁舎と隊舎の完成。同年12月2日「新高山、登レーニ〇八」の暗号電報が、ここから単冠湾の機動部隊司令官・南雲中将に中継打電された。

1945年(S20) 3月17日、硫黄島最後の攻撃の決別電報が小笠原兵団長・栗林中将より傍受する。

戦後、1947年(S22)、アメリカ軍第11空挺部隊の一部、第1騎兵師団通信業務隊が幕別送信所跡に駐留。

1962年(S37)、アメリカ軍キャンプ撤退、返還された。

・・・現状、歴史的建築物として管理されているが、積雪による損傷が進み、一部屋根の崩落している。



間取書  
2000円  
2000円  
2000円  
品片販  
品片販  
TEL: 090-2087-8811  
E-Mail: yaezaki@peize.nisai.or.jp